



編集・発行

一般社団法人八幡平市観光協会

責任者

会長 田村正彦

## ◆年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響も払拭され、観光客の動きも活発化し多くの皆様に八幡平を訪れていただきました。

特にも春の観光の目玉として定着してきている「八幡平ドラゴンアイ」には、多くの観光客に訪れていただき楽しんでもらいました。

また、昨年からスキージャンプ世界チャンピオンの小林陵侑選手のジャンプ体験イベントにも新たに取り組み、春の観光のスタートダッシュとなりました。

一昨年、観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」、いわゆる富裕層向け誘客事業を進めており、昨年、今年と具体的な取り組みが進み、インバウンドの受入体制が整いつつあります。

八幡平エリアが持つさまざまな資源や価値を広く発信し、富裕層のみならず多くの海外の方々、また国内の方々にも八幡平へ訪れていただけるような取り組みといたします。

このような取り組みを継続するために、昨年の12月、当協会は観光地域づくり法人(DMO)の登録申請をいたしました。

複層的に各種事業を進めるための変革と考えており、会員の皆様方にもこの機会を絶好の好機ととらえ、観光誘客が増えるよう切に願っております。

年明けからは当市の冬の観光のメインとなるスキー客の増加に大いに期待しています。

最後になりますが、会員の皆様のご健康、ご多幸、発展を祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

## ◆事務局に新職員が配置になりました

令和7年1月1日より職員として「伊東加奈子さん」が総務係に配置となりました。

前職は(株)岩手銀行で、平舘支店、安代支店などに勤務していました。

## ◆空室情報・施設パンフレット・イベント情報提供のお願い

本格的スキーシーズンを迎え、インターネットでの宿泊予約が主流の昨今ですが、特に「一人で泊まれる宿」の問い合わせも増えております。空き情報(メール・FAX等)をお寄せ下さい。あわせて各イベント情報もお知らせ下さい。観光協会ホームページ、マスコミ等でPRいたします。

また、時々「宿と連絡が取れないがどうしたらいいですか」という問い合わせがありますので、留守等により電話に出られない場合は、留守番電話メッセージを設定いただくか、事前に期間限定の連絡先を観光協会にお知らせ下さるとお客様との取次ぎをいたします。

**あとがき**：お酒を飲めない人を「下戸」といい、「下戸」の反対で、酒飲みのことを「上戸」という。これはもともと家の格式を指した言葉だった。「婚礼は上戸八瓶、下戸二瓶」と言い、「婚礼の際、格式の高い家ではお酒が八瓶、格式の低い家では二瓶しかでない」という意味。「上戸=お酒がたくさん=酒飲み」「下戸=お酒少ない=酒が飲めない」となった。

